

5-1 第1回連絡協議会での要請に対する回答（平成28年11月14日）

（1）米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議を代表として北海道からの要請

要 請 内 容	北 海 道 防 衛 局 か ら の 回 答
<p>① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。 また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。</p> <p>② 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。</p>	<p>○ 千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練や、訓練空域、飛行経路、飛行方法などについて、米軍機は、航空自衛隊と同様の態様となりません。協定についても、平成19年1月26日に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認経過を踏まえ、訓練移転を実施します。</p> <p>○ また、米軍帰還の際の深夜・早朝の飛行につきましては、米軍の運用上の理由により、事情やむをえず実施する場合もありますが、極力そのようなことが生じないよう米側にも求めてまいりたいと考えています。</p>
<p>③ 米軍人の外出時等に対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。</p>	<p>○ 米軍人の外出時等における局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。</p> <p>○ 規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行います。</p>
<p>④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を公表することとともに、できる限り早期に結果を公表すること。</p>	<p>○ 訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えています。</p>

要 請 内 容	北 海 道 防 衛 局 か ら の 回 答
<p>⑤ 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すること。</p>	<p>○ 日米を問わず、訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後の点検等を適正に実施しており十分な安全を確保していると承知しています。</p> <p>○ 当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えています。</p>
<p>⑥ 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。</p>	<p>○ 現地説明会の実施につきましては、連絡会議からのご要望を踏まえ、実施する方向で検討したいと考えています。</p> <p>⇒本日、開催させていただきました。</p> <p>○ 米側によるブリーフィングの実施及び戦闘機の見学については、米側へしかるべく伝えたいと考えています。</p> <p>⇒米側と調整を行い、本日、開催させていただきました。</p> <p>○ また、関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したいと考えています。</p>
<p>⑦ 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。</p>	<p>○ 訓練終了後において、訓練の状況及び騒音測定結果についての「検証」につきましては、可能な限り対応してまいりたいと考えています。</p>

(2) 千歳市からの要請

要 請 内 容	北 海 道 防 衛 局 か ら の 回 答
<p>① 千歳市では、訓練に参加する米軍人が外出することとを前提として、市内の飲食店等の関係者と情報の共有化を図り、共通の理解の下で緊急の連絡体制の確認のため、調整会議を開催している。これまでの調整会議開催には北海道防衛局から説明者として職員を派遣していただいております。今回も特段のご配慮をお願いしたい。</p> <p>② 現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話については、前回と同様に固定電話を設置していただきたい。</p>	<p>○ 調整会議への出席については、参加する方向で考えていますので、詳細については今後、調整させていただきます。</p> <p>⇒ 11月30日に開催された調整会議に、当局の職員が出席しました。</p> <p>○ 当局の現地連絡本部に設置する市民からの問い合わせ電話については、本日のご要望を踏まえ、設置する方向で考えています。</p> <p>⇒ 前回と同様、現地連絡本部に固定電話を設置しました。 固定電話の番号：「0123-23-3060」</p>

(3) 苫小牧市からの要請

要 請 内 容	北 海 道 防 衛 局 か ら の 回 答
<p>① これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、目に見える形で検証すること。</p>	<p>○ 米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場等に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土へへの訓練移転を開始しました。</p> <p>また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。</p> <p>○ これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまでに国内で44回、グアム等で31回となり合計で75回実施しており、今回の千歳で76回目となります。</p> <p>○ これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対する騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。</p> <p>○ なお、一例を申し上げます、グアム等への訓練移転（国内除く）の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音値等を比較したところ、</p> <p>(1) 嘉手納飛行場内の滑走路端の平均WECPNL値</p> <div style="text-align: center;"> <p>(滑走路東側)</p> <p>平成22年度：96.6W</p> <p>グアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：92.5W</p> <p>▲4.1W</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(滑走路西側)</p> <p>平成22年度：93.0W</p> <p>グアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：89.7W</p> <p>▲3.3W</p> </div>

要 請 内 容	北 海 道 防 衛 局 か ら の 回 答
	<p>(2) 嘉手納飛行場周辺において目視により確認した1日当たりの平均離着陸等回数 平成22年度：123回 ▲14回 ↓ ギアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：109回</p> <p>となっております。 当局としては、今後ともどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも相談しながら検討します。</p>
<p>② 戦闘機や輸送機の事故が頻発しており、住民は安全面で非常に不安を抱えていることから、機体点検等を徹底し、安全確保に努めるとともに、発生した事故の原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うこと。</p>	<p>○ 日米を問わず、訓練に参加する航空機については、平素より定期整備、飛行前、飛行後の点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。</p> <p>○ 当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えています。</p>
<p>③ 12月上旬から訓練移転が予定されているが、苦小牧市議会(12/1～9)と重複が予想されるため、日程変更等の調整をしていただけないか。</p>	<p>○ 千歳基地における訓練スケジュールについては、日米間で調整していることから、ご要望がありました内容について本省に伝えます。</p> <p>⇒ 今回の訓練移転実施期間の一部が苦小牧市市議会の日程(12/1～9)と重複することとなりましたが、訓練日程については、日米それぞれの訓練スケジュール等を考慮して、日米間で調整の上、決定されたことをご理解願います。</p>